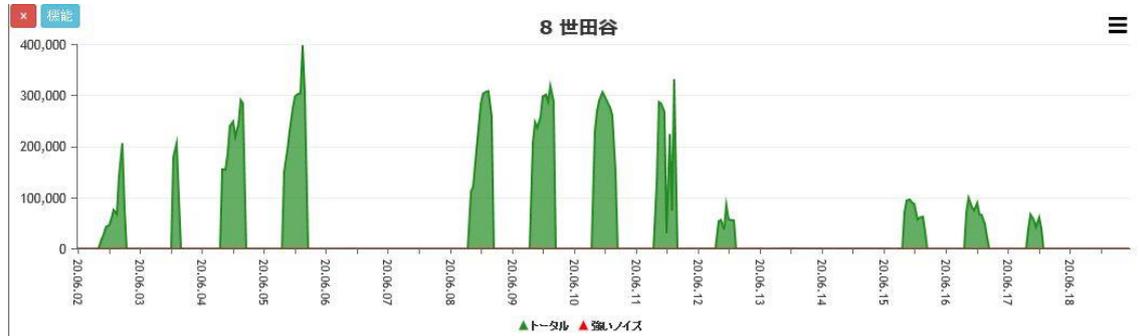


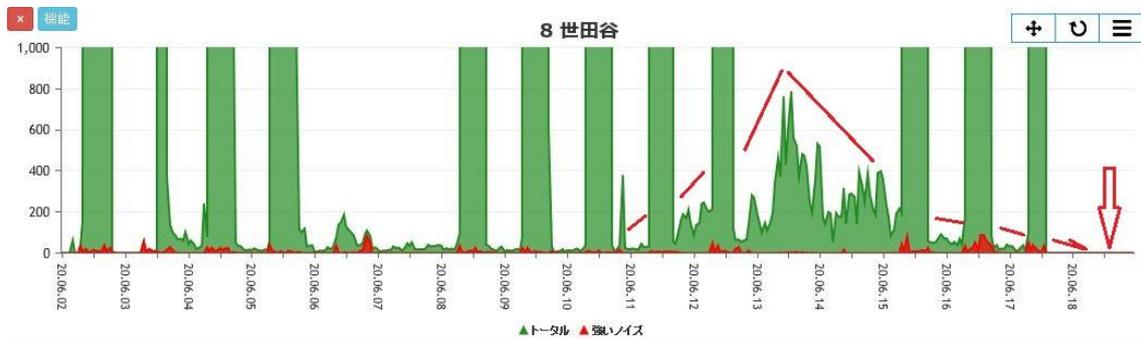
200617 関東、中部のデータのその後

1、関東のデータについて>世田谷の大きなデータは続き、五反田などは収束傾向が続く。

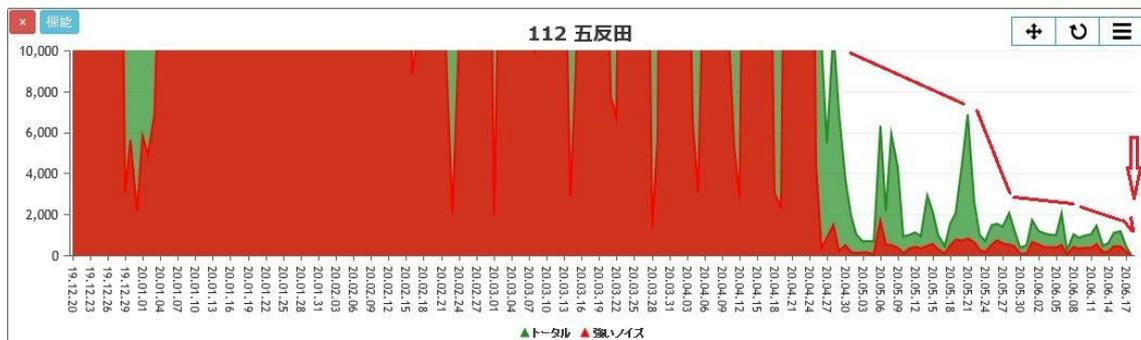
世田谷 15 日データ



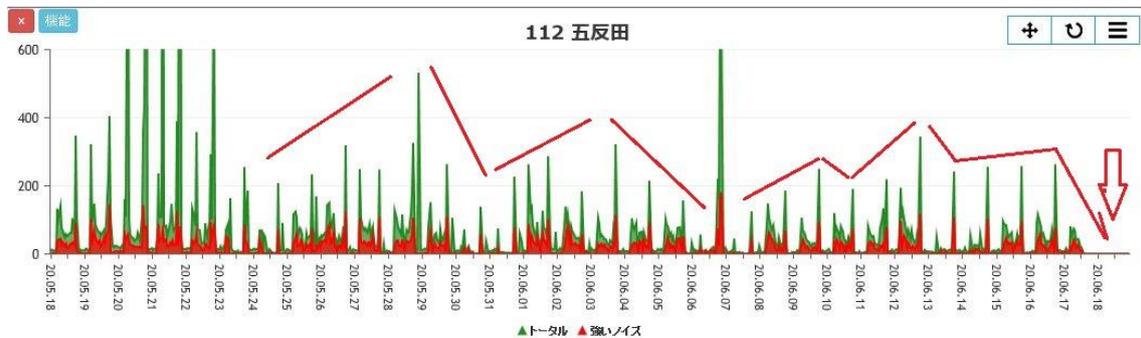
世田谷 15 日データの拡大と収束予想



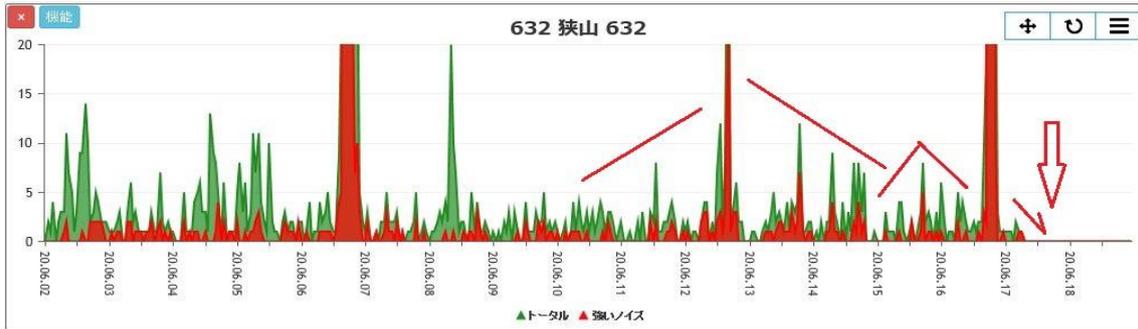
五反田 180 日（日毎）データと収束予想



五反田 30 日データと収束予想



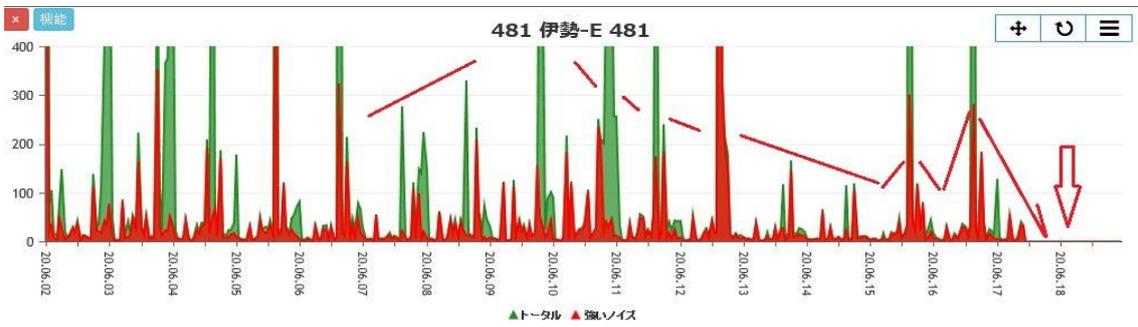
狭山 15日データと収束予想



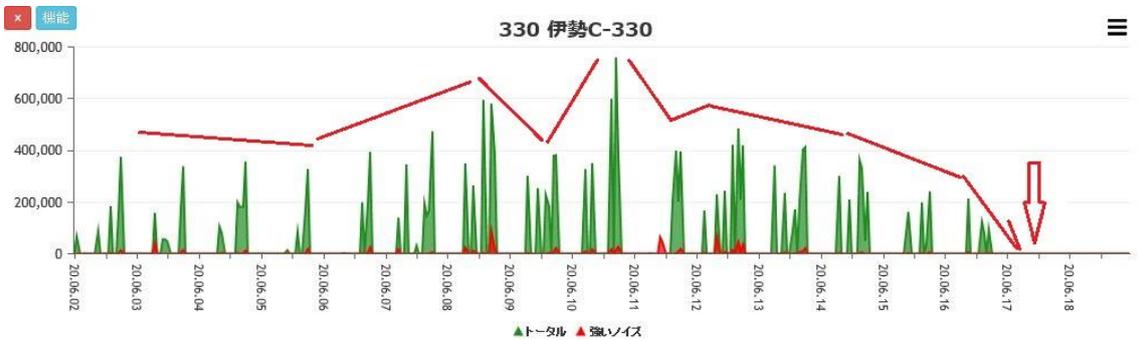
2、中部、東海地区のデータについて>

伊勢は収束傾向が続くが甲府、安曇野のデータが反転してきている。

伊勢 E481 15日データと収束予想

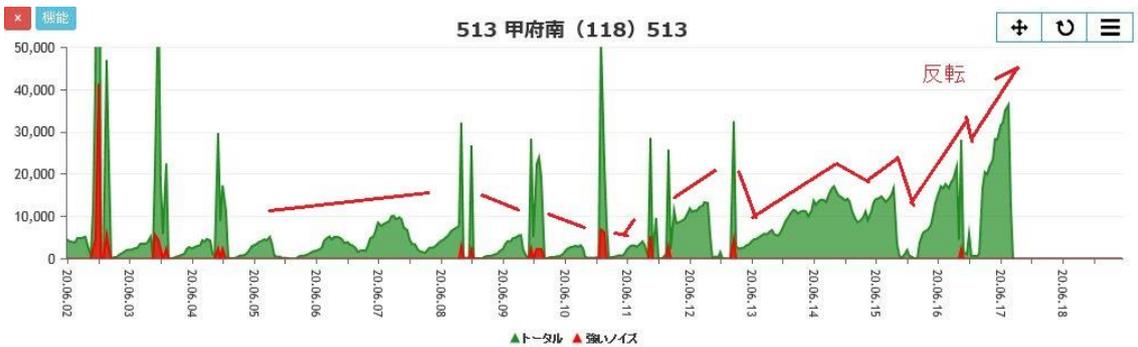


伊勢 C330 15日データと収束予想 > 収束傾向でなかった伊勢 C330 が収束してきている。

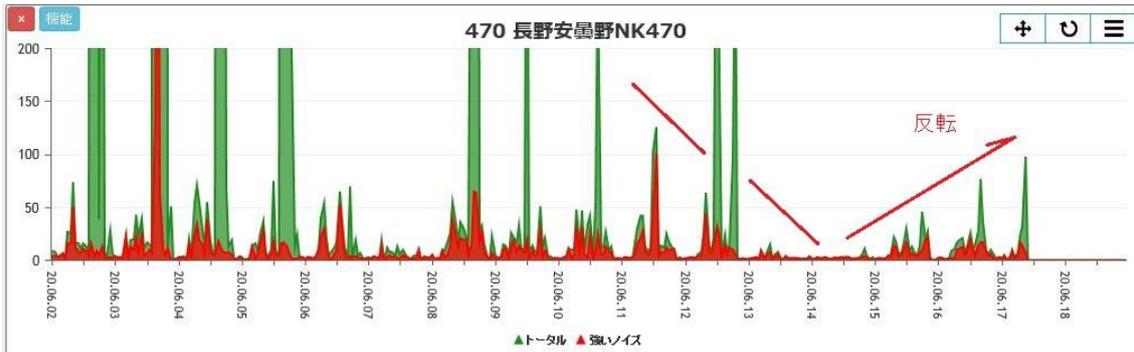


中部の反転データ> 甲府、安曇野のデータが反転してきている

甲府 15日データと反転状況

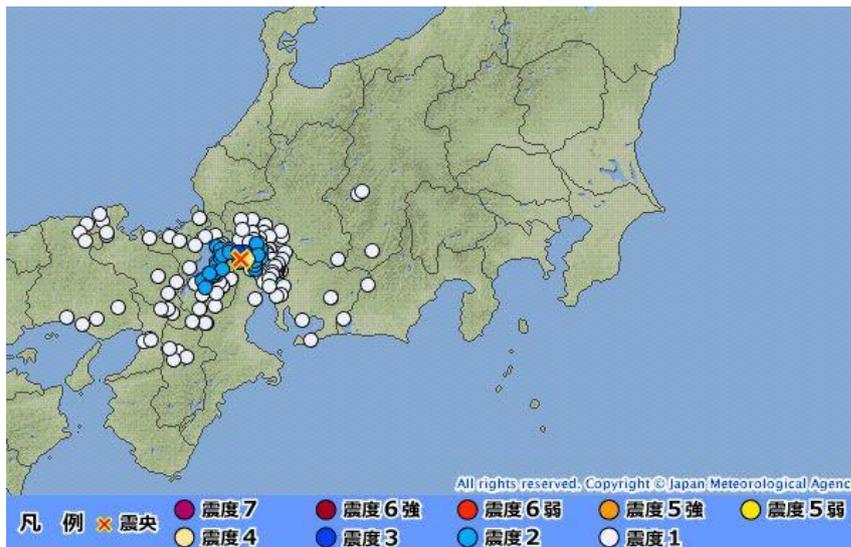


安曇野 15日データと反転状況



このタイミングで岐阜県美濃中西部に M4.2 の地震が発生した。これは4月 22 日以降、長く続いた長野県中部—岐阜県飛騨地方の群発地震よりも震源が南にズレている。またこれまでの伊勢、安曇野などのデータからみて M4 クラスは規模が小さいので この地震を前震と考えると、このあと数日でさらに大きな地震の発生の可能性がある。

>200617 岐阜県美濃中西部 M4.2 発生



この地震の各地域・市町村の震度

各地の震度に関する情報

令和 2年 6月 17日 15時 07分 気象庁発表

17日 15時 03分 ころ、地震がありました。

震源地は、岐阜県美濃中西部（北緯35.3度、東経136.5度）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は4.2と推定されま